山弓連 平9.オ2号

関東高校大会で県勢大活躍

団体女子準優勝（巨摩）と三位（甲南）

男女個人入賞5名・技能優秀校　優秀選手も……

6月1日～3日　前橋市内ほかで開催された関東高校大会に男子6校（塩山・甲南・北杜・白根・巨摩・韮崎）女子6校（巨摩・甲南・北杜・白根・韮崎・増穂商）が参加して大健闘した。

団体予選では、男子白根は5中堅ほかで女子巨摩は中・甲南は先中で通過。

トーナメント戦（ベスト8）に入って、男子塩山は敗れたが白根は強豪前橋育英を7対5で降して勝ち進む。準決勝同士の対決となり、9対5で巨摩の勝ち。巨摩は決勝で秋父第二に惜敗したが堂々の準優勝。甲南も3年生個人戦は男女とも7中同士の熱戦となったが、こちらも平均大活躍で、次の通り入賞を果たした。

○男子
三位　細田幸広（甲南）7中
四位　岩間勝人（北杜）7中
七位　深沢敦司（白根）7中
女子
二位　小林悦子（巨摩）7中
三位　小林智絵（甲南）6中
四位　清水亜希（白根）6中
五位　中村範枝（韮崎）6中

また、この大会の目玉である技能優秀賞（団体2校、個人3名）も、次の通り受賞した。

・技能優秀校（女子）保坂亜紀（巨摩）
・技能優秀選手（女子）保坂亜紀（巨摩）

右の通り山梨県勢もこんな嬉しいニュースでありました。

なお、おもな戦績は次の通り。

○予選（女子）
○県杯5中準決
甲南　12中準決
巨摩　12中
上野原　7中落選
白根　6中通過
北杜　13中県杯準決
6中準決通過

（男子）
塩山　13中準決通過

○トーナメント（女子）
一回戦　甲南（7）－5　利根南（群馬）
巨摩（7）－3　下幡一（茨城）
上野原　7中　落選
白根　6中通過

（男子）
一回戦　塩山（5）－0　作新（栃木）
白根（7）－5　慶応（神奈川）
準決勝　巨摩　4－（10）　秩父第一（埼玉）
準決勝　甲南（5）－3　三田（東京）
巨摩（10）－8　座間（栃木）
決勝　巨摩　4－（10）　秩父第一（埼玉）

※（ツブヤキ）国体の関東わく男子が、女子2、射程距離に入ったか？

おめでとう

永年にわたる指導、功労の実績が認められて、今回、表彰状が送られた。

山里保洲射礼の名手であると共に、平連内では、審査部重鎮員、若手審判員として活躍中。

穏やかな物腰で、温厚な人柄、後輩からも慕われている。

「更迭問題」必ず礼に申さん」が口癖。

日野生まれの中に「にげみず」がいるかもしれないもの。

大正13年（1924年）生まれの73才。

いつまでも健康を保って、長く、後輩の指導に頑張っていただきたい。

新・校歌

吉田高校（男子）

新校歌は、昨年の秋、吉田高校の創立50周年記念式典で発表されました。

作詞は、同校の教諭で、俳句の会「ホトトギス」同人でもある、小林貴子さんです。

作曲は、同校の教諭で、吹奏楽部の顧問でもある、小林悦子さんです。

新・校歌　韮崎高校（男子）

6月の甲南高校での、みごとな校舎落成式典で、新校歌が披露されました。

今回、校歌制定が決まると、作詞を公募することになり、全校生徒から応募があったそうです。

その中から、選ばれた作品に、作曲者が曲をつけるという方法で、新校歌が誕生しました。

作詞者は、3年生の女子生徒で、作曲者は、音楽の先生です。

全日本勤労者選手権大会

6月2～8日　神奈川県厚木市で開催。

来年の「かながわ"ゆめ"国体」のリハーサル大会を兼ねて、全国の各都道府県から10人チームが参加した。

山梨からも、松下重展（韮崎高校）、栗原恵（巨摩高校）の2名が「山梨代表」として参加。

この大会は、「3次予選」から通過「2次予選」でベスト16を決めるやり方で行う。

トーナメント戦という方式で行う。

「3次予選」という厳しい戦いとなった。

松下が1本勝ちで通過したが、栗原は惜しくも1本負けで敗退した。

松下は、2回戦で、3年前の覇者アスペ（神奈川）と対戦したが、0－3で敗れた。

連合審査（弓）

5月17日　山梨県弓道連合審査（6段）を小瀬武道館で開催。

受審者25名、合格者23名という厳しい結果だった。

その中に、中込明さん（敬神村）が入った。

うらやましい。おめでとう。

感想文の一文に、「的中だけでは合格できないことを心に銘じて、日頃の稽古に励みたい。」とあった。

連合審査（弓）

6月15日　東京明治神宮至誠館にて開催。

受審者236名のうち、合格者76名、前回よりやや厳しい結果であった。

この審査会の中で、「引き通りなし」として「皆二射」は、「5射とも」との指摘があったが、いかがか？

全国実業団対抗女子駅伝競走大会

「全日本女子選手権大会」の国体代表男女5名ずつを決め「国体選手選考会」への出場代表」と「国体強化選手権大会」に出場する「山梨代表」とを選考する「3次予選会」が、6月7日（日）武道館で開催された。

6月の「3次予選会」を通過している6名を対象として、「全日本」は、射型・離れ・的中重視、「国体強化」は的中重視で選考基準を加味するという方式で、次の通り代表を決定した。

○全日本・国体予選
○男子（5名）　佐野辰巳　大村利正　宮崎克行　永井秀太郎
○女子（5名）　望月恵美　古屋昭子
○国体強化指定
○有効者（6名）　白須真人　飯塚重明　大留輝哉　荒井寿一　矢野宏幸
○補欠者　伝野辰巳　大村利正　宮崎克行　永井秀太郎　山尾幸夫
○女子（5名）　古屋昭子

なお、全日本選手権大会は6月7日～23日に東京で、また国体強化大会は11月4日に山梨で開催の予定。

吉田（男）と甲南（女）が優勝

6月8日――県高校総体で熱戦展開。

県下屈指の強豪校が集まり、熱戦が展開された。

予選通過チーム（上野原、北杜、吉田、石和、峡北、韮崎、白根、巨摩、甲南、韮北、峡南、甲府、塩山、韮崎、増穂商、甲府東、巨摩）

・トーナメント戦（準決勝以後）

（準決）峡南　10－（14）吉田
（準決）北杜　12－（13）塩山
（準決）吉田　10－10　峡山
（決勝）甲南　9－（10）上野原

最優秀選手賞は、吉田の佐々木君。

○女子の部（参加22校）

・予選通過チーム（巨摩、甲南、上野原、桂、韮崎、峡北、甲西、甲陵、韮崎、塩山、甲東）

・トーナメント戦（準決勝以後）

（準決）巨摩（7）－4　甲西
（準決）巨摩（7）－5　甲陵
（決勝）甲南（7）－3　上野原

最優秀選手賞は、甲南の小林悦子。

○個人戦での上位入賞者は次の通り。

順位	男子	女子
一位	小泉英二（石和）	細田幸子（甲西）
二位	小林智絵（甲南）	小林悦子（巨摩）
三位	中村範枝（韮崎）	清水亜希（白根）

事務局から

矢を採っています。

4月2日の「歓迎の会」（懇親会）で矢を（寄付）くださった方は、次の方々です。

（敬称略）

甲斐　綿貫幹博丈
中巨摩　吉屋　孝
韮崎　荻原　寛
韮崎　萩原　洋
韮北　大月　鈴木　悦雄
韮北　北杜　賢　宮下　貞雄
南巨摩　細田　亮
南巨摩　佐藤英雄夫
東八代　久保田　健一
山梨　甲斐小柳博丈
中巨摩　吉屋　孝
塩山　森岡　博文
東山梨　猿渡　寛
韮崎　萩原　洋
北杜　大月　鈴木　悦雄
北杜　北杜　賢　宮下　貞雄
都留　増野大弘
都留　佐藤英雄夫
都留　小沢　幸男
都留　天野　裕

ありがとうございました。

矢は、まだまだ不足しております。

ご家庭に、不用の矢がありましたら、ぜひ、ご寄付をお願いします。

矢の寸法は、次の通りです。

	竹矢	木矢
長さ	85cm	85cm
重さ	40g	40g
羽根	3枚	3枚

矢部長紹介

山梨　甲斐小柳博丈
中巨摩　吉屋　孝
塩山　森岡　博文
東山梨　猿渡　寛
韮崎　萩原　洋
北杜　大月　鈴木　悦雄
北杜　北杜　賢　宮下　貞雄
都留　増野大弘
都留　佐藤英雄夫
都留　小沢　幸男
都留　天野　裕

上野原、巨摩が優勝

6月1日に京都で開催されるインターハイ（全国高校総体）の県代表の座は、男子は上野原高、女子は巨摩高が獲得した。

総体のVとへ入れかわり、予選で、男子とも上位8校を選び、通過によるトーナメント戦で代表を決定するという方式で行われた。

予選の結果、男子では、総体準決勝の顔ぶれと、ほぼ同じ顔ぶれが並ぶという、まさに戦国時代さながらの結果となった。トーナメント戦の戦績は次の通り。

○男子の部

（準々）甲府　6－（7）巨摩
（準々）石和（13）－（14）峡南
（準々）韮崎　7－（10）上野原
（準々）甲南　3－（7）吉田
（準決）昭和（7）－6　塩山
（準決）巨摩（12）－11　甲南
（決勝）巨摩（12）－8　昭和

○個人戦代表は次の通り。（甲斐総体予選決勝画面）

吉野公（甲南）7中
水上梨沙（甲南）6中
小林悦子（巨摩）7中

群雄割拠の戦国時代を制したたくましさで、全国大会でも活躍することを期待したい。

編集後記

今回は、矢の話ばかりになってしまいました。

矢は、ご家庭に不用のものがありましたら、ぜひ、ご寄付をお願いします。

（寄付をお願いします。）

ジメジメした、梅雨のシーズンになりました。

梅雨から夏にかけては、弓矢が狂ったり、傷んだりする季節です。

矢の手入れは、ていねいにしましょう。

（ちゃんと「基本」が？）が、外に見える事。

（寄付をお願いします。）

矢は、まだまだ不足しております。

ご家庭に、不用の矢がありましたら、ぜひ、ご寄付をお願いします。

（寄付をお願いします。）

ジメジメした、梅雨のシーズンになりました。

梅雨から夏にかけては、弓矢が狂ったり、傷んだりする季節です。

矢の手入れは、ていねいにしましょう。

（ちゃんと「基本」が？）が、外に見える事。